

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：石垣 善康 副会長：青島 彰 幹事：酒向 謙次 副幹事：大塚 博巳



【ランンキュラス】

写真提供：事務局

第1900回

<ソング> 奉仕の理想
 <ソングリーダー> 島村武慶君

【2010-2011年度 RIテーマ】
地域を育み 大陸をつなぐ
 レイ・クリンギンスミス
 BUILDING COMMUNITIES
 BRIDGING CONTINENTS

会長報告

石垣 善康君

本日より、静岡産業大学の冠講座2クール目がスタートいたします。今年度が、始まる時策定いたしましたクラブ長期計画の柱でもあります。講師をされる会員には、ご負担をおかけしますが、青少年奉仕、地域社会への貢献といった見地からご協力のほどお願いいたします。また、海外からの留学生も多く聴講するかと思います。

今年度、RI会長、レイ、クリンギンスミス氏のテーマ<地域を育み、大陸をつなぐ>にまさに即した事業であり、<青少年にかかわる活動が最優先>といったRIの方針そのままの活動と思えます。また、せっかくの機会ですので会員の皆様もぜひ聴講のほどお願いいたします。

先日、米山記念奨学生ダス君と話したとき、彼は昨年度ロータリークラブ冠講座を聴講したとのことでした。感想を聞いたところ<毎回講師と内容が違うので、かえって面白く、学生の間では評判が良かった>とのこと。講師をされる会員の皆様は、自信を持ってご講演ください。学生たちは楽しみに待っています。

本日は、所要で欠席させて頂き、青島副会長に会長報告をお願いいたしました。申し訳ありません。以上会長報告といたします。

幹事報告

酒向 謙次君

- エレクト事務所より、2011年RI国際代議員の提出期限延長のお知らせが届いております。
- 三島西 RC より、災害支援活動報告が届いております。

- 新世代委員会より、「LOVE GREEN PROJECT」への参加のお願いが届いております。
- エレクト事務所より、2620地区 2013-2014年度ガバナーノミニー決定宣言が届いております。静岡RCより志田浩顯(しだひろあきら)君を指名しました。
- いわき平中央 RC より、風評被害に関するお願いの手紙が届いております。

出席報告

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
24 / 40 60.00%	34 / 40 85.00%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

池谷君 池ノ谷君 石垣君 石割君
 落合君 小西君 酒井君 杉浦君
 鈴木舜君 大長君 仲田晃君 水野君
 村松君 柳原君 山田君 渡辺君

(2)メイクアップ者

大長 昭子君(藤枝)

ビジター

酒井 俊介君(島田) 外岡 政美君(島田)
 池谷 哲治君(島田) 丸尾 氣窮雄君(島田)
 竹島 総一郎君(島田) 中野 弘道君(焼津)
 中村 幸夫君(焼津南) 安井 博史君(焼津南)
 曾根 勝美君(焼津南) 中野 強一郎君(焼津南)
 古桑 幸郎君(焼津南) 稲葉 俊英君(藤枝南)
 松浦 正秋君(藤枝南) 高杉 光洋君(藤枝南)
 鈴木 徹君(藤枝南) 漆畑 雄一郎君(藤枝南)

冠講座

本日より、冠講座をお引き受けいたしました、藤枝ロータリークラブです。

毎回、異なる講師、講演内容となりますので、過去3年間開催する中で少し不安なところもありましたが、昨年受講した学生の一人が「毎回、違う内容の講義なので、毎回新鮮な気持ちで受講でき、参考になった」という意見を言ってくれました。今年度も、毎回異なる講師が、異なる内容で、全力で講演いたしますので、宜しくお願いします。私たちは、教授や先生ではなく、一企業人であり、社会人です。皆さんに対しても、学生という立場でなく、一社会人として、接し、話をいたします。この講座を受ける皆様は、会社の社員、ビジネスマンとさせていただき、社会人としての自覚とマナーを持って受講してください。

本来ならば、直接皆様にお会いしたかったのですが、東関東大震災の現地へ、慰問と被害状況把握のため訪問中ですので、残念ですがお会いできません。次回5月10日は、私の担当講座ですので、皆さんとお会いできる事を楽しみにさせていただきます。

辞令交付式

大坪学長から非常勤講師として講師全員分の辞令を代表で青島ガバナー補佐が受け取りました。



青島ガバナー補佐講演前に、平奉仕プロジェクト委員長からご挨拶がありました。

第1回

『ロータリークラブとは?』

青島 克郎君



ロータリーのお話

静岡産業大学冠講座第1回講義

平成23年4月26日(火)

自己紹介

氏名 青島克郎(アオシマカツロウ)

職業 東興開発株式会社 代表取締役

生年月日 昭和20年3月15日

ロータリー入会 昭和63年2月3日 在籍23年

2007-2008年度 藤枝ロータリークラブ会長

2010-2011年度 静岡第5分区ガバナー補佐

2009年5月12日 本講座で講義(起業のすすめ)

【ロータリーの組織と現況】

・ロータリーの組織

ロータリークラブ - 分区 - 地区 -
国際ロータリー

クラブ会長 - ガバナー補佐 - ガバナー
- 国際ロータリー会長

・ロータリーの現況

世界(163ヶ国)

会員数 1,227,000 クラブ数 34,000

ゾーン数34 地区数 531

日本 会員数 90,000

クラブ数 2,300 ゾーン数3 地区数34

2620地区 第2ゾーン(グアム、ミクロネシア、マニラ、パラオを含む)

会員数 3,176 クラブ数 79

分区数 静岡7 山梨4

静岡第5分区 9クラブ 444名

東日本大震災被災地区

2520地区(岩手、宮城) 2530地区(福島)

- ・ 会員数の推移 世界的には減少していないが
日本では20年前の30%減少
- ・ 2010-2011年度RI会長とテーマ
RI会長 レイ・クリンギンスミス(米国)
テーマ 「Building Communities Bridging
Continents」「地域を育み大陸を
つなぐ」
- ・ 主なRI会長
 - ポール・ハリス
1910-1912 全米ロータリークラブ連合
会会長
ロータリー創立者
 - アーチ・クランプ
1916-1917 国際ロータリークラブ連合
会会長
ロータリー財団の生みの親
 - ガイ・ガンディカー
1923-1924国際ロータリー会長
関東大震災時の会長で、多大の救援を受
けた
 - ハーバート・テラー
1954-1955国際ロータリー会長
「四つのテスト」の草案者
 - 東ヶ崎 潔
1968-1969国際ロータリー会長
日本で初めてのRI会長 (東京RC)
 - 向笠 廣次
1982-1983国際ロータリー会長
(中津RC)
日本で二人目のRI会長 (東京RC)
 - 田中 作次氏
2012-2013国際ロータリー会長
(八潮RC)

【国際ロータリーの歴史】

ロータリーの創設者ポール・ハリス
(1868-1947)
米国ウィスコンシン州で生まれた後、
バーモント州に移る
アイオワ大学に入学し、1891年6月に法
律学士を得て卒業

シカゴのビジネス街に法律事務所を構
え40年以上弁護士として活躍

ロータリーの誕生

1905(明治38)年2月23日、弁護士のポ
ール・ハリス、石炭商のシルベスター・
シール、鉱山技師のガスターバス・E・
ローア、洋服商のハイラム・ショーレ
ーの4人がシカゴのユニティ・ビル
の711号室に集まりロータリー創立の提
案がされた。この日が世界最初のロー
タリークラブの第1回の会合となった。
ロータリークラブ当初、互恵的な取引
と打ち解けた親睦という単純な構
想をクラブの基本として発足した。
会員は1業種につき1人と取り決め、誠
実な人柄の会員を推薦するとし、1905
年10月には会員30名、1年後に80名にな
った。

世界へ広がるロータリー

当初シカゴクラブの会員は新しいクラ
ブを拡大する事に反対するものが多か
ったが、ポール・ハリスとチェスリー・
ベリーの努力によりシカゴから2番目
のクラブは広大なアメリカ大陸を一挙
に横断して西海岸のサンフランシスコ
に、そしてアメリカのほかの都市へ、
そして国境を超えてほかの国へと広が
り始めた。

第二次世界大戦とロータリー

ロータリー運動を容易に破壊しかねな
い大惨事が三つがあった。第1次世界
大戦と大恐慌と第2次世界大戦である。
1936年、内戦が勃発したスペインを皮
切りに、ドイツ、オーストリア、イタ
リアなど次々とロータリークラブは解
散においこまれた。

勿論、日本も例外ではなかった。

終戦後のロータリー

第2次世界大戦中、各国のロータリー
クラブは国際ロータリーを脱退してい
ましたが各国のロータリアンたちは口

ロータリーの灯を消すことなく、脱退後もロータリーの精神をもち続けていたのです。

1940年代に入ると、国際奉仕についての活動が重要視され、ロータリーは今や「アメリカの組織」とはみなされなくなり、1945年の時点でロータリークラブ数は5,441、会員数は247,212人であった。

新世紀のはじまり

21世紀が近づく頃、ロータリーは社会の変わり行くニーズに応え、環境破壊、識字率の向上、飢餓、危機下の子供たちといった緊要な課題に取り組む奉仕活動を懸命に行っていました。ポール・ハリスとその仲間が後の「国際ロータリー」の前身となるクラブを初めて創立してから1世紀以上経った今でも、ロータリアンは、自分たちの組織に対する誇りを引き継いでいます。

【日本のロータリーの歴史】

日本のロータリークラブ創始者 米山梅吉
(1868-1946)

1868年に江戸（東京）の和田家に生まれる。5歳の時に父親が他界し、母親の郷里、静岡県三島に移住する。後に米山家の養子となり、渡米。

ウェスレヤン大学やシラキュース大学などで法学を学びマスターオブアーツを取得、帰国後に勝海舟に師事する。内外編物（現・ナイガイ）設立にも深く関わった。1946年1月 疎開先の駿東郡長泉で78歳で亡くなる。

日本のロータリーの誕生

米山氏が帰国後1920年10月20日 東京RCの創立総会が会長米山梅吉はじめ24名のチャーターメンバーで開催された。1921年4月1日 チャーターメンバーにさらに4名加わり28名でRIよ

り承認される。

大阪に転勤した福島喜三次が中心となり1922年11月には大阪に2番目のクラブが誕生。

1935年6月静岡ロータリークラブが誕生し、翌年2月には浜松RCが誕生。

世界大恐慌と第二次世界大戦

1933年日本が国際連合を脱退。ロータリーに対する世間の誤解は、ロータリーに対する攻撃に転じ、スパイ呼ばわりさえされる始末となった。新聞紙上でも、ロータリー解散すべしと論断された。

1940年9月11日、東京ロータリークラブは遂に解散した。

弾圧の中、ロータリークラブは次々と解散に追い込まれ1941年には静岡RCも解散している。

その後多くのクラブは東京水曜クラブ、横浜同人会、静岡木曜会、浜松火曜会などの名称で存続を図ったが、第2次大戦勃発とともに有名無実であった。

戦後の日本のロータリー

東京ロータリークラブが1949年3月29日に旧登録番号855で再登録され、日本のロータリークラブが国際ロータリーに復帰し続いて13クラブが1949年のうちに復帰した。

1950年4月11日には静岡RCが復帰し、新たに甲府RCが東京RCをスポンサーとして1950年5月に設立され、現在の山梨・静岡が第2620地区となる基礎ができた。

1951年には浜松RCも復帰した。

1961年5月天皇、皇后両陛下臨席のもと日本で初めての国際大会が東京で開催された。日本のロータリーの創始者、米山梅吉は1946年4月28日、福島喜三次は同年9月17日、日本のロータリーの復帰を見ることなく相次いで亡くなっていました。

【ロータリーの理念】

ロータリーの定款と綱領の変遷

ロータリーは創立当初お互いが信頼しあえる人間関係を作るための親睦と仕事上で互恵関係をつくる事を目的で作られたが 特に細則も定款文書もなかった。

1916年ロータリークラブ国際連合会のモデル定款・細則をつくりクラブの名称、綱領、会員資格と分類、区域限界、特定の政見支持の禁止など、重要な項目は標準化し、すべての新設クラブにこの採用を義務付けた。

その後ロータリーの理念を示すため

「ロータリーの綱領」としてまとめた。

現在のロータリーの基本理念(会社で言う経営理念、社是)

ロータリーの基本理念を表すものとして次の5があります。

ロータリーの綱領

有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

五大奉仕部門(2011-2012年度より新世代奉仕が加わる)

- ・クラブ奉仕 親睦活動とクラブの機能を充実させることを主眼とします。
- ・職業奉仕 ロータリアンが自らの職業を通じて人々に奉仕し、高い道徳水準を実践することを奨励します。
- ・社会奉仕 地域社会の人々の生活の質を向上させるためにクラブが行うプロジェクトや活動です。
- ・国際奉仕 世界中におけるロータリーの人道的な活動を広げ、世界理解と平和を推進する活動を含んでいます。
- ・新世代奉仕 指導力養成活動、奉仕プロジェクト、交換プログラムを通じて、青少年と若者によって好ましい変化をもたらされることを認識するものである。

四つのテスト

全ての言行はこれに照らしてから行う。

- ・真実かどうか
- ・みんなに公平か
- ・好意と友情を深めるか
- ・みんなのためになるかどうか

ロータリーの使命

国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダー

一の間の親睦を通じて世界理解、
親善、平和を推進することです。

ロータリーの標語

第1標語 「超我の奉仕」 **Service Above Self** ベン・コリンズ(ミネアポリスRC)

第2標語 「もっともよく奉仕するもの、最も多く報われる」

He profits most who serves best

アーサー・フレデリック・シルトン博士

【ロータリーの奉仕活動】

ロータリーの奉仕活動のための資金

ロータリーが様々な奉仕活動を行う上で多額の資金が必要となりますが、それらの資金の殆どはロータリアンが次のような形で寄付します。

- ・年会費
- ・ロータリー財団寄付金
- ・米山記念奨学会寄付
- ・ポリオ撲滅資金寄付
- ・特別寄付

ロータリーの2つの財団

- ・ロータリー財団

ロータリー財団には、3つの主なプログラム分野があります。

- ・ポリオ・プラス
- ・教育的プログラム
- ・人道的補助金

- ・財団法人 米山奨学会

日本のロータリー創始者、米山梅吉を記念した日本独自の財団で外国から日本に留学している学生のための奨学金のための財団。

五大奉仕と奉仕プログラムとは

クラブ奉仕

職業奉仕

社会奉仕

国際奉仕

- ・ポリオ・プラス(ポリオ撲滅プログラム)
- ・国際親善奨学金プログラム(新世代奉仕?)
- ・GSE
- ・マッチング・グラント補助金
- ・地区補助金

新世代奉仕

- ・インターアクト
- ・ローターアクト
- ・青少年交換事業
- ・ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)
- ・米山記念奨学会

【米山奨学生スピーチ】

名 前	プロタープ・ダス君
国 籍	バングラディシュ
学 籍	静岡産業大学 国際情報学部



(担当/大塚高君)